

③スポーツへのアクセス向上～普及・強化～

バングラデシュ「著名人派遣(陸上競技:飯塚翔太選手)」 2022年11月13～16日



バングラデシュの小学生と「かけっこ」する飯塚選手

背景/課題

バングラデシュは治安状況を踏まえ、JICAは2016年以降JICA海外協力隊の派遣を見合わせている。一方、バングラデシュ政府の期待と信頼は大きく、昨今治安が安定していることから、現在事業の再開を検討している。2022年は日・バの外交関係樹立50周年という節目でもあり、協力可能性の高いスポーツ分野での有識者を派遣することは、両国にとって有益である。

目的

- 陸上競技分野での「スポーツ選手育成に関する政府方針の確認」、「スポーツ選手育成機関の技術指導水準や支援体制の確認」、「協力隊事業に関する広報活動を目的とした有識者の派遣」、「スポーツと開発に資するイベント実施や広報活動」により、スポーツ分野のボランティア派遣を目指す。

活動内容

リオ五輪400mリレー銀メダリストの飯塚翔太選手を派遣し、様々なレベルで交流を実施：

- 若手陸上選手への指導
- コーチ、元オリンピック選手、オリンピック委員会関係者との意見交換
- バングラデシュの小学生、ストリートチルドレン、日本人学校の小中学生、日本人会との交流

成果

- 国立スポーツ学院やオリンピック委員会とのネットワークが強化された。
- 日・バのメディア関係者へスポーツを通じた国際交流・協力の重要性が発信された。
- 日本人学校や日本人コミュニティでのスポーツを通じた交流の重要性の理解が促進された。